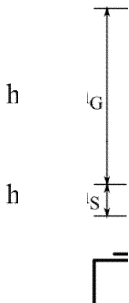
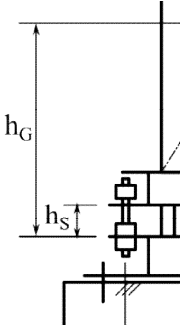
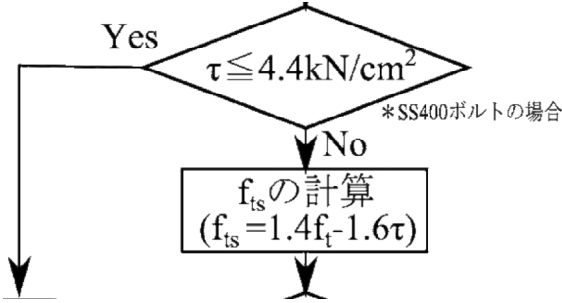
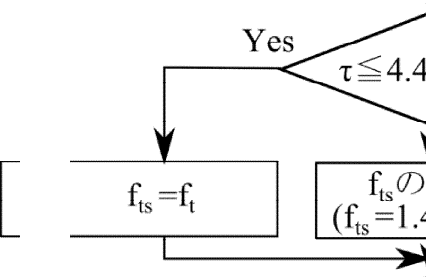


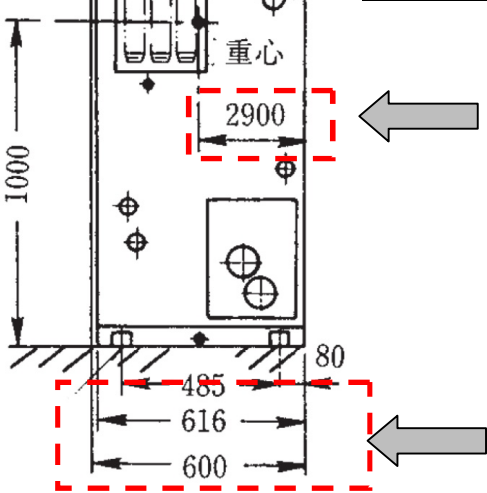
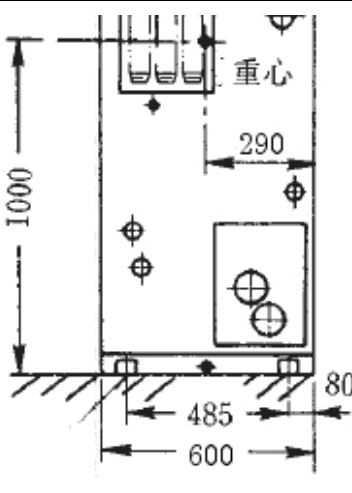
「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」
(第 1 版 1 刷・2 刷用) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。
最新の正誤表については、(一財) 日本建築センターホームページ (<http://www.bcj.or.jp/>) の書籍販売ページでご確認下さい。

H28/3/2

○：正誤あり ー：修正済み

該当箇所		誤	正	1 刷	2 刷
頁	行			H26. 9. 25	H26. 11. 25
7	上から 7 行目	各階の応答加速度値	各階床の応答加速度値	○	○
7	上から 11 行目	…がある場合の予備計算による…	…がある場合は解析結果による…	○	○
10	上から 7 行目	設計用水平震度 K_S = …	設計用水平震度 K_H = …	○	○
23	下から 2 行目	壁平行	長辺	○	○
24	③頂部支持材のアンカーボルトに作用する力	引抜き力 $R_b = \frac{T \cdot \sin \theta}{n_0}$ せん断力 $Q_b = \frac{T \cdot \cos \theta}{n_0}$	X 方向 引抜き力 $R_b = \frac{N}{n_0}$ (解 3.3-3d) Y 方向 引抜き力 $R_b = \frac{T \cdot \sin \theta}{n_0}$ 、 せん断力 $Q_b = \frac{T \cdot \cos \theta}{n_0}$ (解 3.3-3e)	○	○
27	指針図 3.4-3			○	○
30	下から 9 行目	(指針式 3.2-1)	(指針式 3.2-1a)	○	○
32	上から 15 行目	$= \frac{F_H \cdot h_G + (W - F_V) \cdot \ell_G}{n_t \cdot \ell}$	$= \frac{F_H \cdot h_G - (W - F_V) \cdot \ell_G}{n_t \cdot \ell}$	○	○
39	解図 3.4-7	図中の『容応』の文字を削除		○	ー
46	下から 1 行目	指針表 3.3-2 上面つなぎ材に準じて計算する。	計算例 9 に準じて計算する。	○	○
53	上から 11 行目	f_{ts} の検討を省略している。	$f_{ts} = f_t$ としている。	○	○
53	解図 4.2-1			○	○
62	下から 11 行目	W：設備機器の重量 (<u>cm</u>)	W：設備機器の重量 (<u>kN</u>)	○	ー
62	下から 10 行目	W_F：基礎重量 (<u>cm</u>)	W_F：基礎重量 (<u>kN</u>)	○	ー
62	下から 8 行目	比重量は普通コンクリートで $23 \times 10^{-6} \text{kN/m}^3$	比重量は普通コンクリートで $23 \times 10^{-6} \text{kN/cm}^3$	○	ー
64	上から 12 行目	$A \cdot \underline{f_t} \geq R_b$	$A \cdot \underline{f_t} \geq R_b$	○	○
64	上から 22 行目	F_C が不明な場合は $f_a = \dots$	F_C が不明な場合は <u>F_C 18</u> とし $f_a = \dots$	○	○
75	上から 20 行目	配管の有効質量は全質量の約 0.6 倍	配管の有効重量は全重量の約 0.6 倍	○	○
75	上から 24 行目	配管全質量	配管全重量	○	○
171	上から 22 行目	④ 取付けボルトは <u>JIS</u> による中ボルトとする。	④ 取付けボルトは中ボルトとする (中ボルト (SS400) は JIS による仕上げボルトの強度区分 4.6 p.233 参照)。	○	○
171	下から 5 行目	本例では簡便な (ii) の方法を…	本例では簡便な②の方法を…	○	ー
176	上から 6 行目	=8,530 <u>kN</u>	=8,530 <u>kN・cm</u>	○	○
177	上から 1 行目	$\underline{f_c}$	$\underline{f_c}$	○	○
	下から 9 行目	埋込式 J 形 (<u>M6</u>)	埋込式 J 形 (<u>M16</u>)	○	○
179	上から 2 行目	アンカーボルトの選定	アンカーボルトの選定 ① 「付表 1」より 設置工法……埋込式 J 形 (M20)、堅固な基礎とする 埋込長さ L=20cm、c=15cm、h=45cm $T_a = 6\pi \times L^2 \times p (=0.01) = 75.4 \text{kN} > R_b$	○	○
179	上から 3 行目	解図 4.2-3 より	② 解図 4.2-3 より	○	○
180	下から 1 行目	=254kN > <u>220</u> kN OK	=254kN > <u>222</u> kN OK	○	○
181	上から 3 行目	=197kN	=197kN (解式 3.5-3)	○	○
181	上から 4 行目	=61.5kN	=61.5kN (解式 3.5-6)	○	○

該当箇所		誤	正	1 刷	2 刷
頁	行			H26. 9. 25	H26. 11. 25
183	下から 3 行目	アンカーボルトの選定	アンカーボルトの選定 ① 「付表 1」より 設置工法……埋込式 J 形 (M10)、堅固な基礎とする 埋込長さ L=9cm (引抜き力を生じないのでせん断力で選定)	○	○
183	下から 2 行目	解図 4.2-3 より	② 解図 4.2-3 より	○	○
184	上から 12 行目	=18,600	=18,600 kN・cm	○	○
186	計算例 7 図面寸法			○	—
188	上から 7 行目	径は <u>16</u> 本-M20 とする。	径は <u>14</u> 本-M20 とする。	○	○
189	下から 6 行目	$P=F_H/4=4.40/4=1.10\text{kN}$	$P=F_H/4=4.40/4=1.10\text{kN}$ $\ell_1=69+69=138\text{cm}$	○	○
189	下から 4 行目	$T_2 = \frac{M}{2\ell} + \frac{(M+F_v)(\ell-\ell_G)}{2\ell}$	$T_2 = \frac{M}{2\ell_1} + \frac{(W+F_v)(\ell_1-\ell_G)}{2\ell_1}$	○	○
190	上から 3 行目	$N_T'=1.51+1.10=2.61\text{kN}$	$N_T'=T_2+T_1=1.51+1.10=2.61\text{kN}$	○	○
190	上から 9 行目	㊸ B 材	㊸ B 材 (短い部材なので、座屈を無視して引張り力に対して検討している。)	○	○
190	下から 7 行目	=3.74kN	=3.74kN (解式 3.5-14)	○	○
190	下から 3 行目	=2.57kN	=2.57kN (解式 3.5-5)	○	○
192	上から 9 行目	熱交換機	熱交換器	○	○
192	上から 10 行目	熱交換機	熱交換器	○	○
193	上から 10 行目	(但し p= <u>1</u> とした。)	(但し p= <u>0.01</u> とした。)	○	○
194	上から 11 行目	(但し p= <u>1</u> とした。)	(但し p= <u>0.01</u> とした。)	○	○
195	上から 11 行目	埋込長さ L= <u>60</u> cm	埋込長さ L= <u>6</u> cm	○	○
195	下から 1 行目	$h_G=158\text{cm}$	$h_G=148\text{cm}$	○	○
196	上から 1 行目	$\ell_G=90\text{cm}$ (長辺)	$\ell_G=86\text{cm}$ (長辺)	○	○
196	上から 5 行目	= <u>1.22</u> kN/本	= <u>0.95</u> kN/本	○	○
199	下から 9 行目	$P=Q_o + \frac{F_H \cdot h_G}{2\ell} = \frac{144}{2} + \frac{4.95 \times 32}{2 \times 45} = 1.76\text{kN}$	$P=Q_o + \frac{F_H \cdot h_G}{2\ell} = \frac{1.44}{2} + \frac{4.95 \times 32}{2 \times 45} = 3.20\text{kN}$ $\theta=40^\circ$	○	○
199	下から 8 行目	A 材の引張り力= $P \cdot \frac{1}{\tan \theta} + \frac{F_H}{2} = 4.24\text{kN}$	A 材の引張り力= $P \cdot \frac{1}{\tan \theta} + \frac{F_H}{2} = 6.29\text{kN}$	○	○
199	下から 7 行目	B 材の圧縮力= $P \cdot \frac{1}{\sin \theta} = 2.49\text{kN}$	B 材の圧縮力= $P \cdot \frac{1}{\sin \theta} = 4.98\text{kN}$	○	○
199	下から 5 行目	引張り力 $N_T'=4.24\text{kN}$	引張り力 $N_T'=6.29\text{kN}$	○	○
200	上から 1 行目	$= \frac{4.24}{3.60 \times 23.5} + \dots = 0.05 + 0.26 = 0.31 < 1.0$	$= \frac{6.29}{3.60 \times 23.5} + \dots = 0.07 + 0.26 = 0.33 < 1.0$	○	○
200	上から 3 行目	$N_C'=5.97\text{kN}$	$N_C'=4.98\text{kN}$	○	○
200	上から 8 行目	=82.9kN > <u>5.97kN</u> OK	=82.9kN > <u>4.98kN</u> OK	○	○
200	上から 10 行目	=0.96kN/本	=0.96kN/本 (解式 3.5-11)	○	○
200	下から 12 行目	< <u>10.2</u> kN/cm ² OK	< <u>10.1</u> kN/cm ² OK	○	○
203	計算例 17 の図	左側の図において、寸法『290』の左側の引き出し線位置を、アンカー位置から重心位置に修正		○	○
205	計算例 18 の図	左側の図において、寸法『290』の左側の引き出し線位置を、アンカー位置から重心位置に修正		○	○
205	上から 4 行目	(2) 移動防止型ストopp	(2) 移動防止型ストopp (長辺方向)	○	○
205	上から 5 行目	($K_H=1.5$ の場合)	($K_H=1.0$ の場合)	○	○
205	上から 6 行目	$K_H=1.5$	$K_H=1.0$	○	○
205	上から 7 行目	$K_V=0.75$	$K_V=0.5$	○	○
205	上から 10 行目	$\ell_G=29\text{cm}$ (長辺)	$\ell_G=55\text{cm}$ (長辺)	○	○
205	上から 11 行目	$\ell=46\text{cm}$	$\ell=120\text{cm}$ (長辺)	○	○

該当箇所		誤	正	1 刷	2 刷
頁	行			H26. 9. 25	H26. 11. 25
205	上から 17 行目	(誤) ストッパの板厚 $t \geq \sqrt{\frac{6K_H \cdot W \cdot \ell_2}{f_b \cdot (\ell_1 - m \cdot d_0) \cdot N_s}} = \underline{0.71} \text{ cm}$ (指針式 3.4-1a)			
		(正) $T_0 = \frac{\{K_H \cdot h_G - \ell_G(1 - K_v)\} \cdot W}{\ell} = -0.44 \text{ kN}$ (解式 3.4-1)		○	○
		ストッパの板厚 $t \geq \sqrt{\frac{6K_H \cdot W \cdot \ell_2}{f_b \cdot (\ell_1 - m \cdot d_0) \cdot N_s}} = \underline{0.58} \text{ cm}$ (指針式 3.4-1a)			
205	下から 8 行目	<u>0.71cm → 0.8cm</u> 以上の板厚とする。	<u>0.58cm</u> 以上の板厚とする。	○	○
205	下から 7 行目	アンカーボルト 転倒モーメントに対し不利な長辺方向について検討する。	アンカーボルト	○	○
205	下から 6 行目	$R_b = \frac{\ell_2 \cdot K_H \cdot W}{\ell_s \cdot m \cdot N_s} = \underline{3.36} \text{ kN/本}$	$R_b = \frac{\ell_2 \cdot K_H \cdot W}{\ell_s \cdot m \cdot N_s} = \underline{2.24} \text{ kN/本}$	○	○
205	下から 5 行目	$Q = \frac{K_H \cdot W}{m \cdot N_s} = \underline{2.1} \text{ kN/本}$	$Q = \frac{K_H \cdot W}{m \cdot N_s} = \underline{1.4} \text{ kN/本}$	○	○
206	上から 4 行目	(3) 移動・転倒防止型ストッパ	(3) 移動・転倒防止型ストッパ (短辺方向)	○	○
206	上から 17 行目	$T_0 = \dots = \underline{2.58 \text{ kN}}$ (長辺)	$T_0 = \dots = 2.58 \text{ kN}$	○	○
206	上から 21 行目	アンカーボルト 転倒モーメントに対し不利な長辺方向について検討する。	アンカーボルト	○	○
206	上から 22 行目	引抜き力 $R_b = \dots = \underline{1.29 \text{ kN/本}}$ (指針式 3.4-2a)	引抜き力 $R_b = \dots = 1.29 \text{ kN/本}$ (指針式 3.4-2c)	○	○
207	下から 3 行目	設備用水平震度	設計用水平震度	○	○
208	上から 7 行目	設計用鉛直地震力 $F_v = \underline{5.50} \text{ kN}$	設計用鉛直地震力 $F_v = 6.99 \text{ kN}$	○	○
220	上から 6 行目	$P_a = 221 \text{ N} = \underline{0.22 \text{ kN/本}} > R_b = 0.20 \text{ kN}$	$P_a = 221 \text{ N} = 0.22 \text{ kN/本} > R_b = 0.20 \text{ kN/本}$	○	○
228	付録図 3-4 のキャプション	付録図 3-4 水槽の有効重量比 (α_T)	付録図 3-4	○	○

「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」
(第 1 版 3 刷用) 正誤表

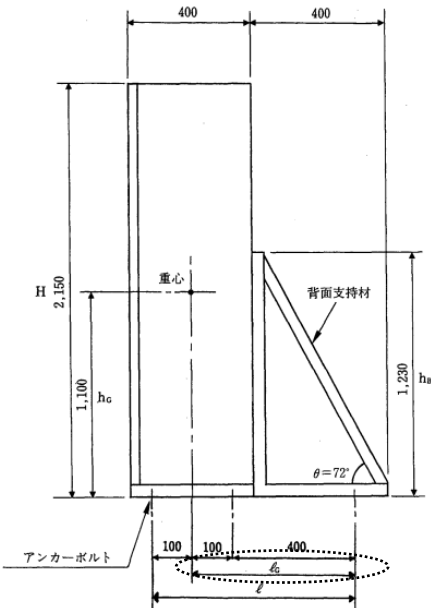
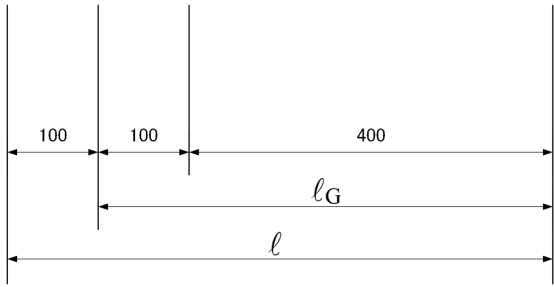
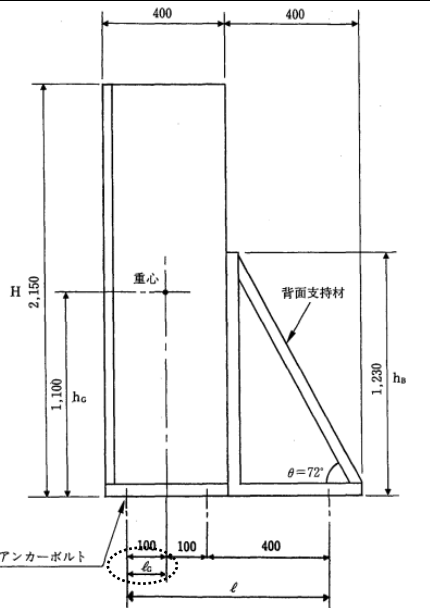
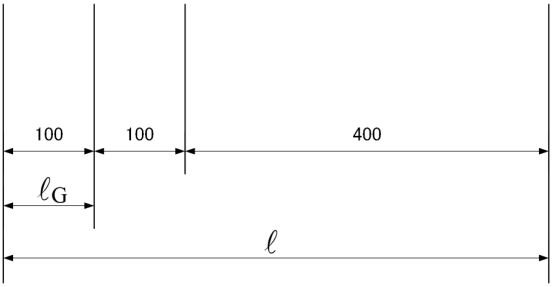
該当箇所		誤	正
頁	行		
24	③頂部支持材のアンカーボルトに作用する力	X 方向 引抜き力 <u>$R_b = N$</u> (3.3-3d)	X 方向 引抜き力 <u>$R_b = \frac{N}{n_0}$</u> (3.3-3d)
44	6 行目	…せん断が作用していることに留意する。	…せん断が作用していることに留意する。ただし、柱下端が連結されている場合には両側柱を考慮できる。
71	下から 10 行目	…抑制するよう耐震支持を行う。	…抑制するよう、指針表 6.2-1 に示す耐震支持を行う。
	下から 8 行目	…抑制する耐震支持を行う。	…抑制する耐震支持を行う。ただし、電気配線・ケーブルラックの管軸方向については、指針表 6.2-1 による。
177	15 行目	$F_H' = \frac{F_H}{\underline{n_2}} = \frac{67.2}{4} = 16.8 \text{ kN}$	$F_H' = \underline{n} \cdot Q = \frac{F_H}{\underline{n_3}} = \frac{67.2}{4} = 16.8 \text{ kN}$ <u>n_3 は、柱下端を連結しているので両側端を考慮して (2×2=4) としている。</u>
181	4 行目	$F_H' = \frac{F_H}{\underline{6}} = \frac{369}{6} = 61.5 \text{ kN}$	$F_H' = \underline{n} \cdot Q = \frac{F_H}{\underline{n_3}} = \frac{369}{4} = 92.3 \text{ kN}$ <u>n_3 は、柱下端を連結しているので両側端を考慮して (2×2=4) としている。</u>
	9 行目	② 解図 4.2-3 より	② 各柱にアンカーボルト 4 本として <u>$R_b=49.3 \text{ kN}$、$Q=23.1 \text{ kN}$、</u> 解図 4.2-3 より
	10 行目	径は 24 本— <u>M20</u>	径は 24 本— <u>M22</u>
210	18 行目	$M_v' = P_v \cdot \underline{\alpha} = \dots$	$M_v' = P_v \cdot \underline{a} = \dots$

「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」
(第 1 版 1 刷・2 刷・3 刷共通) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。

最新の正誤表については、弊センターホームページの当該書籍紹介ページでご確認ください。

H31/4/26

該当箇所		誤	正
頁	行など		
199	下から2行目	d:ボルト孔径 (M16・・・1.7cm)  【寸法部分の拡大】 	d:ボルト孔径 (M8・・・0.9cm)  【寸法部分の拡大】 

該当箇所		誤	正
頁	行など		
216	上から 9～10 行目	アンカーボルトの距離 $\ell_{G1}=10\text{cm}$ 盤と背面支持材とのボルトスパン $\ell_{G2}=40\text{cm}$	アンカーボルトの距離 $\ell_G=10\text{cm}$
216	指針式3.2-1a の2行目	$= \frac{6.00 \times 110 - (3.00 - 3.00) \times 50}{60 \times 2} = 5.50\text{kN}$	$= \frac{6.00 \times 110 - (3.00 - 3.00) \times 10}{60 \times 2} = 5.50\text{kN}$

「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」
(第 1 版 1 刷・2 刷・3 刷共通) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。
最新の正誤表については、弊センターホームページの当該書籍紹介ページでご確認ください。

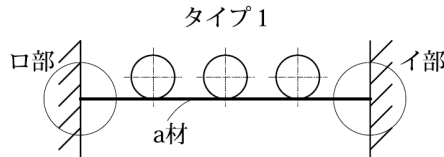
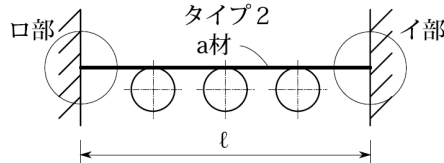
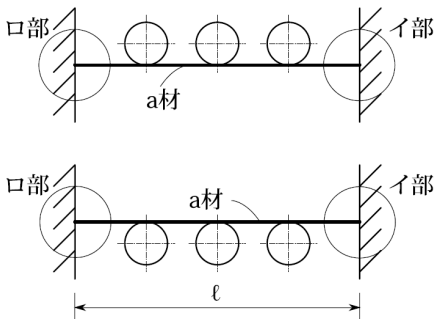
R1/7/24

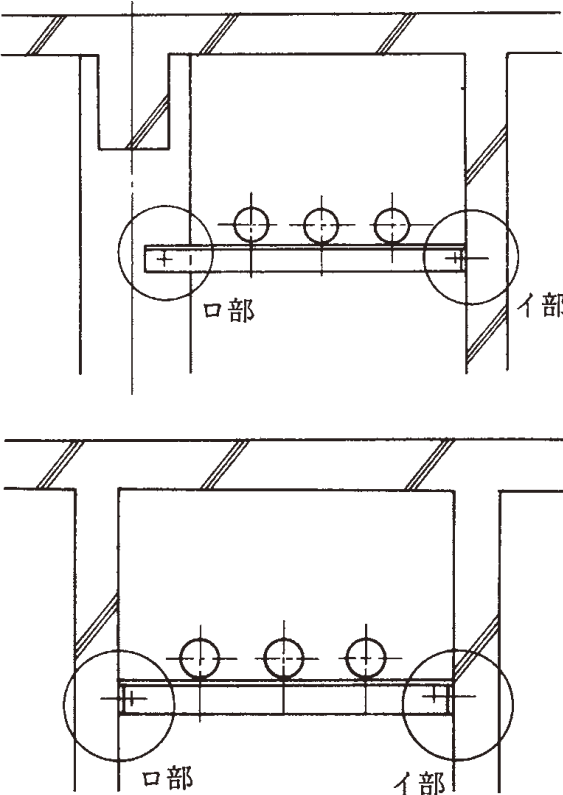
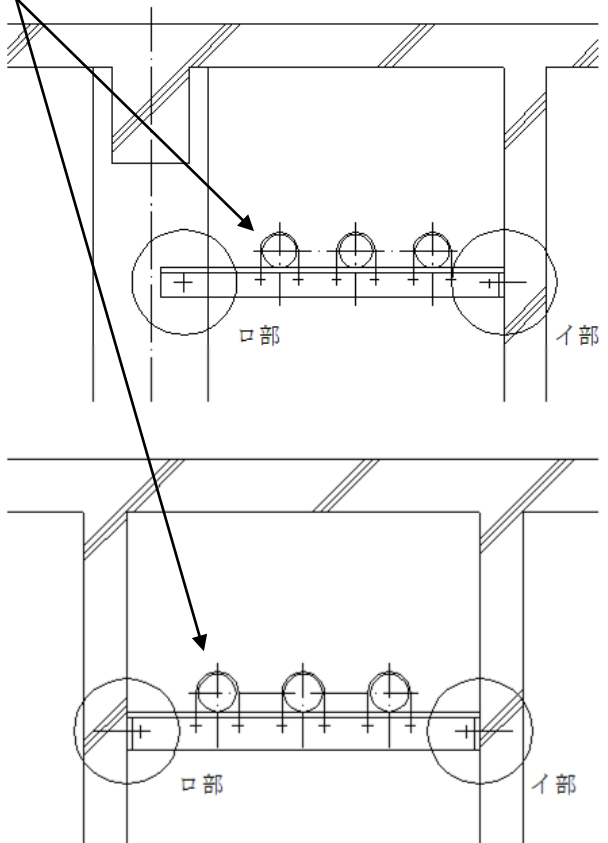
該当箇所		誤							正						
頁	行・図表														
130	付表 2.1-6 (No. 6 つづき) 配管重量 P 20 支持寸法 ℓ 2000 h 500 の行 及び 1000 の行の、 部材仕様 a 材の列	[-100× <u>75</u> ×5×7.5							[-100× <u>50</u> ×5×7.5						
		20	1500	1500	[-125 × 65 × 6 × 8	2-CM12	M16	20	1500	1500	[-125 × 65 × 6 × 8	2-CM12	M16		
				2000	[-125 × 65 × 6 × 8	2-CM16	2-M16			2000	[-125 × 65 × 6 × 8	2-CM16	2-M16		
				2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10	3-CM12	2-M16			2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10	3-CM12	2-M16		
		2000		500	[-100 × 75 × 5 × 7.5	2-CM10	M16		2000	500	[-100 × 50 × 5 × 7.5	2-CM10	M16		
				1000	[-100 × 75 × 5 × 7.5	2-CM10	M16			1000	[-100 × 50 × 5 × 7.5	2-CM10	M16		
				1500	[-125 × 65 × 6 × 8	2-M16	M16			1500	[-125 × 65 × 6 × 8	2-M16	M16		
				2000	[-125 × 65 × 6 × 8	2-CM12	M16			2000	[-125 × 65 × 6 × 8	2-CM12	M16		
				2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10	2-CM16	2-M16			2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10	2-CM16	2-M16		
				500	[-100 × 50 × 5 × 7.5	2-M10	M16			500	[-100 × 50 × 5 × 7.5	2-M10	M16		

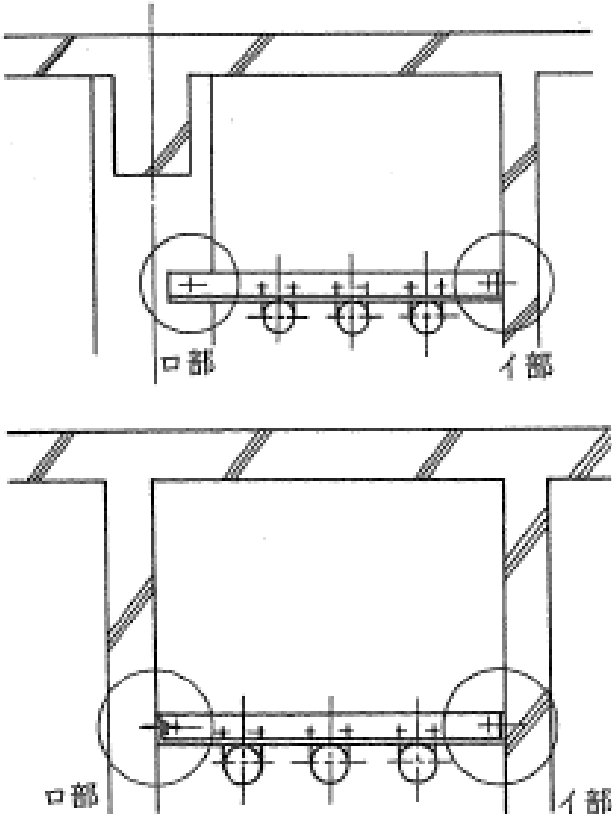
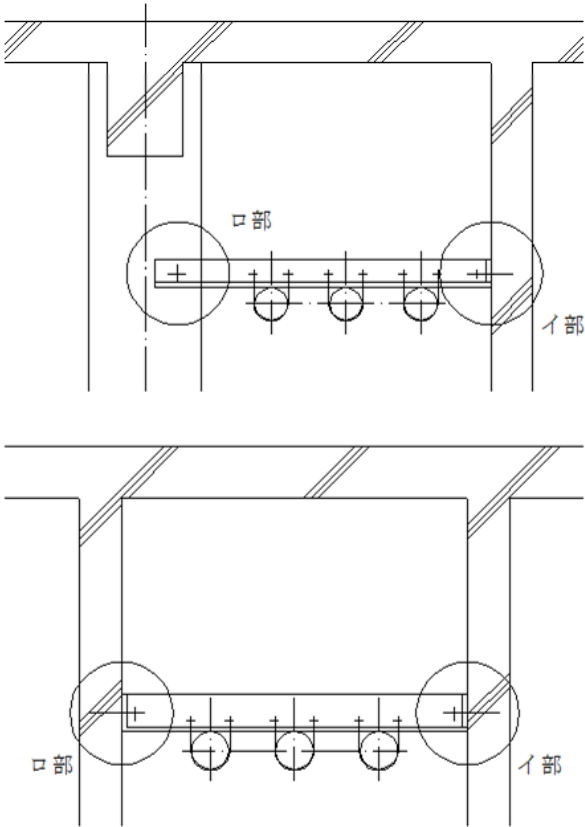
「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」
(第 1 版 全刷共通) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。
最新の正誤表については、弊センターホームページの当該書籍紹介ページでご確認ください。

R2/3/10

該当箇所		誤	正																																						
頁	行など																																								
10	21 行目	を用いて、設計用水平震度 K_s を計算すると、・・・	を用いて、設計用標準震度 K_s を計算すると、・・・																																						
49	指針表 4. 1-1	<table><tr><th rowspan="2">ボルトの種類</th><th colspan="2">長期許容応力度(kN/cm²)</th><th colspan="2">短期許容応力度(kN/cm²)</th></tr><tr><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th></tr><tr><td>ボルト(SS400)</td><td>11.7</td><td>6.78</td><td>17.6</td><td>10.1</td></tr><tr><td>ステンレスボルト(A2-50)</td><td>10.5</td><td>6.08</td><td>15.8</td><td>9.12</td></tr></table>	ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)		短期許容応力度(kN/cm ²)		引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)	ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1	ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.08	15.8	9.12	<table><tr><th rowspan="2">ボルトの種類</th><th colspan="2">長期許容応力度(kN/cm²)</th><th colspan="2">短期許容応力度(kN/cm²)</th></tr><tr><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th></tr><tr><td>ボルト(SS400)</td><td>11.7</td><td>6.78</td><td>17.6</td><td>10.1</td></tr><tr><td>ステンレスボルト(A2-50)</td><td>10.5</td><td>6.06</td><td>15.8</td><td>9.09</td></tr></table>	ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)		短期許容応力度(kN/cm ²)		引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)	ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1	ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.06	15.8	9.09
ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)			短期許容応力度(kN/cm ²)																																					
	引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)																																					
ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1																																					
ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.08	15.8	9.12																																					
ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)		短期許容応力度(kN/cm ²)																																						
	引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)																																					
ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1																																					
ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.06	15.8	9.09																																					
52	11 行目	・・・ボルトの「ねじ谷径断面/軸断面積=0.75」・・・	・・・ボルトの有効断面積「ねじ谷径断面/軸断面積=0.75」・・・																																						
125 136	左上の図	タイプ 1  タイプ 2 	※「タイプ 1」「タイプ 2」の文字を削除 																																						

該当箇所		誤	正
頁	行など		
149	付表 2.4-2 「全体架構図」の列 「タイプ1 配管を支持 材上部に設置の場合」 の図	 タイプ1 配管を支持材上部に設置の場合	※Uボルトを追加  ※タイプ1を削除 配管を支持材上部に設置の場合

該当箇所		誤	正
頁	行など		
149	付表 2. 4-2 「全体架構図」の列 「タイプ2 配管を支持材下部に設置の場合」 の図	 タイプ2 配管を支持材下部に設置の場合	 ※「タイプ2」を削除 配管を支持材下部に設置の場合
175	9 行目	重心位置 $l_G=64\text{cm}$	(「重心位置 $l_G=64\text{cm}$ 」を削除)

「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」
(第 1 版 全刷共通) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。
最新の正誤表については、弊センターホームページの当該書籍紹介ページでご確認ください。

R2/6/24

該当箇所		誤	正																															
頁	行など																																	
162	付表 2.6-2 配管重量 20 支持材寸法 500 の行	20	<table><tr><td>500</td><td>L-90 × 90 × 6</td><td>M12</td><td>E-70 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-100 × 100 × 10</td><td>M12</td><td>[-100 × 50 × 5 × 7.5</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M12</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table>	500	L-90 × 90 × 6	M12	E-70 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10	1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	<table><tr><td>500</td><td>L-90 × 90 × 6</td><td>M12</td><td>E-75 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-100 × 100 × 10</td><td>M12</td><td>[-100 × 50 × 5 × 7.5</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M12</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table>	500	L-90 × 90 × 6	M12	E-75 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10	1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10
			500	L-90 × 90 × 6	M12	E-70 × 40 × 5 × 7	M10																											
			1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10																											
			1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																											
500	L-90 × 90 × 6	M12	E-75 × 40 × 5 × 7	M10																														
1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10																														
1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
162	付表 2.6-2 配管重量 30 支持材寸法 500 の行	30	<table><tr><td>500</td><td>L-90 × 90 × 10</td><td>M16</td><td>[-75 × 40 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table>	500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	<table><tr><td>500</td><td>L-90 × 90 × 10</td><td>M16</td><td>[-75 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table> 「× 40」を削除	500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10
			500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 40 × 5 × 7	M10																											
			1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																											
			1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																											
500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 5 × 7	M10																														
1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
163	付表 2.6-3 配管重量 50 支持材寸法 2000 の行	50	<table><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>2-M16</td><td>H-100 × 100 × 6 × 8</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>L-150 × 150 × 7 × 10</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>H-175 × 175 × 7.5 × 11</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr></table>	1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16	2000	L-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16	2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16	<table><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>2-M16</td><td>H-100 × 100 × 6 × 8</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>H-150 × 150 × 7 × 10</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>H-175 × 175 × 7.5 × 11</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr></table>	1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16	2000	H-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16	2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16
			1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16																											
			2000	L-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																											
			2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																											
1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16																														
2000	H-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																														
2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																														

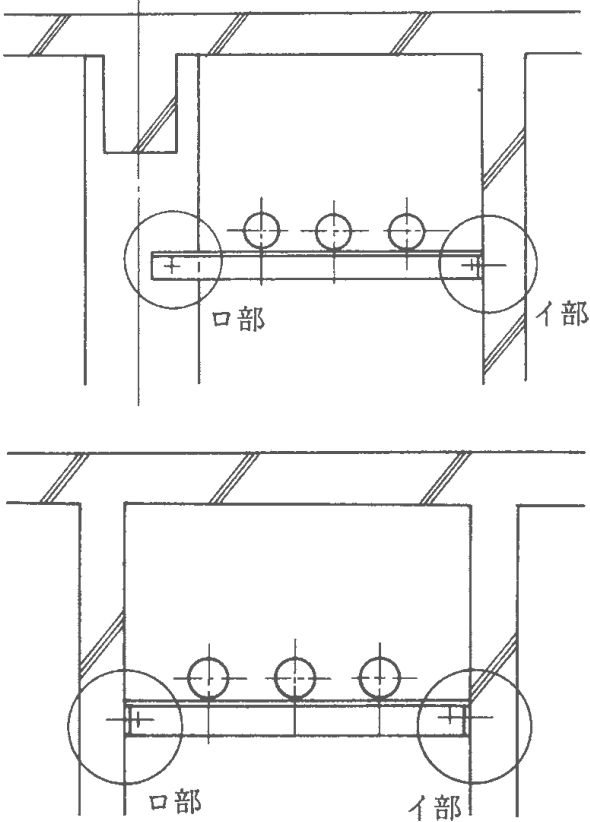
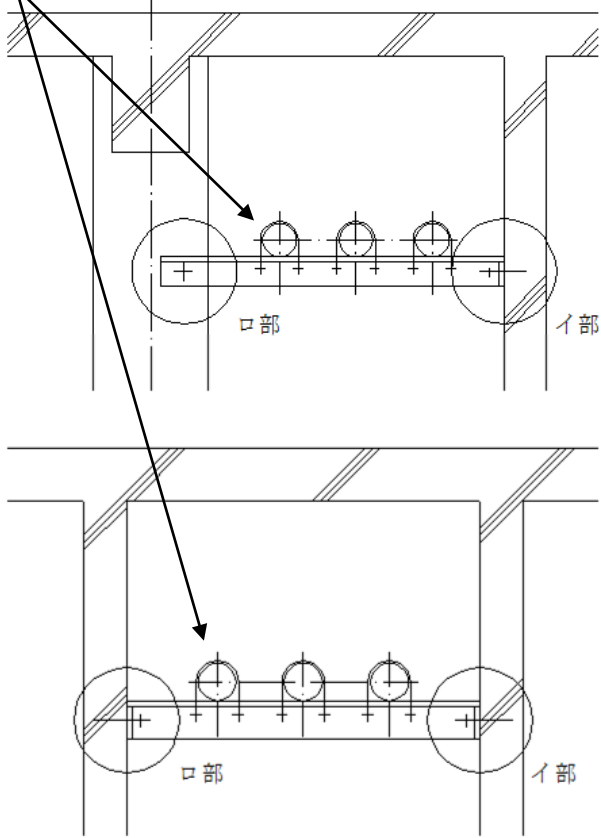
「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」(第 1 版 7 刷) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。

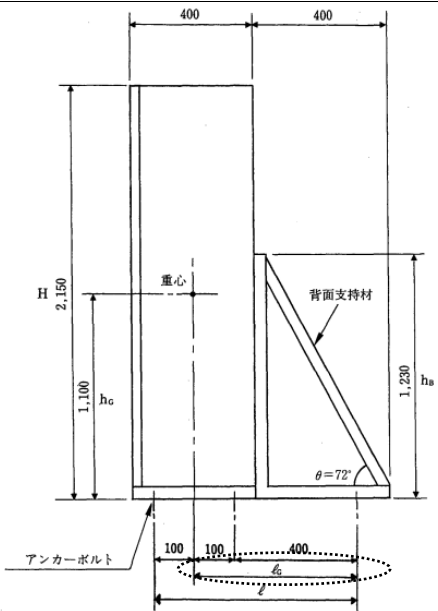
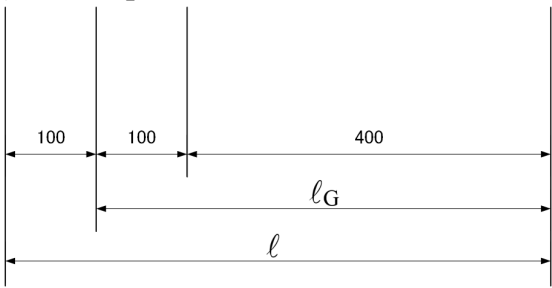
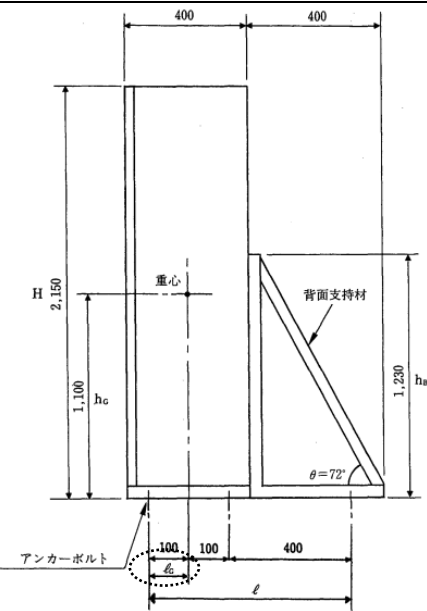
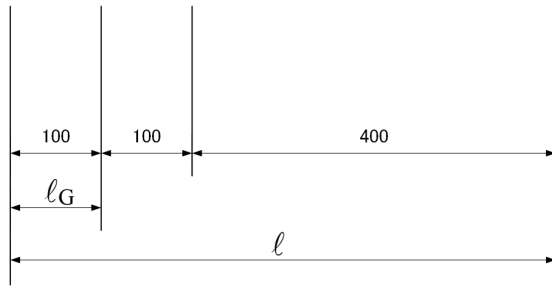
最新の正誤表については、日本建築センターホームページの書籍販売ページからご確認ください。

R2/7/2

該当箇所		誤	正																																																																																														
頁	行など																																																																																																
10	21 行目	を用いて、設計用 水平 震度 K_s を計算すると、・・・	を用いて、設計用 標準 震度 K_s を計算すると、・・・																																																																																														
49	指針表 4.1-1	<table><tr><th rowspan="2">ボルトの種類</th><th colspan="2">長期許容応力度(kN/cm²)</th><th colspan="2">短期許容応力度(kN/cm²)</th></tr><tr><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th></tr><tr><td>ボルト(SS400)</td><td>11.7</td><td>6.78</td><td>17.6</td><td>10.1</td></tr><tr><td>ステンレスボルト(A2-50)</td><td>10.5</td><td>6.08</td><td>15.8</td><td>9.12</td></tr></table>	ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)		短期許容応力度(kN/cm ²)		引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)	ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1	ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.08	15.8	9.12	<table><tr><th rowspan="2">ボルトの種類</th><th colspan="2">長期許容応力度(kN/cm²)</th><th colspan="2">短期許容応力度(kN/cm²)</th></tr><tr><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th><th>引張(f_t)</th><th>せん断(f_s)</th></tr><tr><td>ボルト(SS400)</td><td>11.7</td><td>6.78</td><td>17.6</td><td>10.1</td></tr><tr><td>ステンレスボルト(A2-50)</td><td>10.5</td><td>6.06</td><td>15.8</td><td>9.09</td></tr></table>	ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)		短期許容応力度(kN/cm ²)		引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)	ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1	ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.06	15.8	9.09																																																								
ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)			短期許容応力度(kN/cm ²)																																																																																													
	引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)																																																																																													
ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1																																																																																													
ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.08	15.8	9.12																																																																																													
ボルトの種類	長期許容応力度(kN/cm ²)		短期許容応力度(kN/cm ²)																																																																																														
	引張(f_t)	せん断(f_s)	引張(f_t)	せん断(f_s)																																																																																													
ボルト(SS400)	11.7	6.78	17.6	10.1																																																																																													
ステンレスボルト(A2-50)	10.5	6.06	15.8	9.09																																																																																													
52	11 行目	・・・ボルトの「ねじ谷径断面/軸断面積=0.75」・・・	・・・ボルトの 有効断面積 「ねじ谷径断面/軸断面積=0.75」・・・																																																																																														
130	付表 2.1-6 (No.6 つづき) 「配管重量」の「20」、 「支持材寸法」の「2000」 の行	<table><tr><td rowspan="10">20</td><td rowspan="3">1500</td><td>1500</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-CM12</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-CM16</td><td>2-M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>[-150 × 75 × 6.5 × 10]</td><td>3-CM12</td><td>2-M16</td></tr><tr><td rowspan="7">2000</td><td>500</td><td>[-100 × 75 × 5 × 7.5]</td><td>2-CM10</td><td>M16</td></tr><tr><td>1000</td><td>[-100 × 75 × 5 × 7.5]</td><td>2-CM10</td><td>M16</td></tr><tr><td>1500</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-M16</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-CM12</td><td>M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>[-150 × 75 × 6.5 × 10]</td><td>2-CM16</td><td>2-M16</td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr></table>	20	1500	1500	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16	2000	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM16	2-M16	2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10]	3-CM12	2-M16	2000	500	[-100 × 75 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16	1000	[-100 × 75 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16	1500	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-M16	M16	2000	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16	2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10]	2-CM16	2-M16													<table><tr><td rowspan="10">20</td><td rowspan="3">1500</td><td>1500</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-CM12</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-CM16</td><td>2-M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>[-150 × 75 × 6.5 × 10]</td><td>3-CM12</td><td>2-M16</td></tr><tr><td rowspan="7">2000</td><td>500</td><td>[-100 × 50 × 5 × 7.5]</td><td>2-CM10</td><td>M16</td></tr><tr><td>1000</td><td>[-100 × 50 × 5 × 7.5]</td><td>2-CM10</td><td>M16</td></tr><tr><td>1500</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-M16</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8]</td><td>2-CM12</td><td>M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>[-150 × 75 × 6.5 × 10]</td><td>2-CM16</td><td>2-M16</td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="4"></td></tr></table>	20	1500	1500	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16	2000	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM16	2-M16	2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10]	3-CM12	2-M16	2000	500	[-100 × 50 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16	1000	[-100 × 50 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16	1500	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-M16	M16	2000	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16	2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10]	2-CM16	2-M16												
20	1500	1500			[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16																																																																																										
		2000			[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM16	2-M16																																																																																										
		2500		[-150 × 75 × 6.5 × 10]	3-CM12	2-M16																																																																																											
	2000	500		[-100 × 75 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16																																																																																											
		1000		[-100 × 75 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16																																																																																											
		1500		[-125 × 65 × 6 × 8]	2-M16	M16																																																																																											
		2000		[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16																																																																																											
		2500		[-150 × 75 × 6.5 × 10]	2-CM16	2-M16																																																																																											
20	1500	1500	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16																																																																																												
		2000	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM16	2-M16																																																																																												
		2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10]	3-CM12	2-M16																																																																																												
	2000	500	[-100 × 50 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16																																																																																												
		1000	[-100 × 50 × 5 × 7.5]	2-CM10	M16																																																																																												
		1500	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-M16	M16																																																																																												
		2000	[-125 × 65 × 6 × 8]	2-CM12	M16																																																																																												
		2500	[-150 × 75 × 6.5 × 10]	2-CM16	2-M16																																																																																												
125 136	左上の図	タイプ 1 タイプ 2	※「タイプ 1」「タイプ 2」を削除																																																																																														

該当箇所		誤	正
頁	行など		
149	付表 2. 4-2 「全体架構図」の列 「タイプ1 配管を支持材上部に設置の場合」 の図及びタイトル	 タイプ1 配管を支持材上部に設置の場合	※Uボルトを追加  配管を支持材上部に設置の場合 ※「タイプ1」を削除

該当箇所		誤	正																																
頁	行など																																		
149	付表 2.4-2 「全体架構図」の列 「タイプ2 配管を支持材下部に設置の場合」 の図のタイトル	タイプ2 配管を支持材下部に設置の場合	配管を支持材下部に設置の場合 ※「タイプ2」を削除																																
162	付表 2.6-2 「配管重量」の「20」、 「支持材寸法」の「500」 の行	<table><tr><td rowspan="3">20</td><td>500</td><td>L-90 × 90 × 6</td><td>M12</td><td>[70 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-100 × 100 × 10</td><td>M12</td><td>[-100 × 50 × 5 × 7.5</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M12</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table>	20	500	L-90 × 90 × 6	M12	[70 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10	1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	<table><tr><td rowspan="3">20</td><td>500</td><td>L-90 × 90 × 6</td><td>M12</td><td>[75 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-100 × 100 × 10</td><td>M12</td><td>[-100 × 50 × 5 × 7.5</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M12</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table>	20	500	L-90 × 90 × 6	M12	[75 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10	1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10
20	500	L-90 × 90 × 6		M12	[70 × 40 × 5 × 7	M10																													
	1000	L-100 × 100 × 10		M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10																													
	1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
20	500	L-90 × 90 × 6	M12	[75 × 40 × 5 × 7	M10																														
	1000	L-100 × 100 × 10	M12	[-100 × 50 × 5 × 7.5	M10																														
	1500	L-130 × 130 × 9	M12	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
162	付表 2.6-2 「配管重量」の「30」、 「支持材寸法」の「500」 の行	<table><tr><td rowspan="3">30</td><td>500</td><td>L-90 × 90 × 10</td><td>M16</td><td>[-75 × 40 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table>	30	500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	<table><tr><td rowspan="3">30</td><td>500</td><td>L-90 × 90 × 10</td><td>M16</td><td>[-75 × 40 × 5 × 7</td><td>M10</td></tr><tr><td>1000</td><td>L-130 × 130 × 9</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr><tr><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>M16</td><td>[-125 × 65 × 6 × 8</td><td>M10</td></tr></table> ※「× 4 0」を削除	30	500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 5 × 7	M10	1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10	1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10
30	500	L-90 × 90 × 10		M16	[-75 × 40 × 40 × 5 × 7	M10																													
	1000	L-130 × 130 × 9		M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																													
	1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
30	500	L-90 × 90 × 10	M16	[-75 × 40 × 5 × 7	M10																														
	1000	L-130 × 130 × 9	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
	1500	L-130 × 130 × 15	M16	[-125 × 65 × 6 × 8	M10																														
163	付表 2.6-3 「配管重量」の「50」 「支持材寸法」の「2000」 の行	<table><tr><td rowspan="3">50</td><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>2-M16</td><td>H-100 × 100 × 6 × 8</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>L-150 × 150 × 7 × 10</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>H-175 × 175 × 7.5 × 11</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr></table>	50	1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16	2000	L-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16	2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16	<table><tr><td rowspan="3">50</td><td>1500</td><td>L-130 × 130 × 15</td><td>2-M16</td><td>H-100 × 100 × 6 × 8</td><td>M16</td></tr><tr><td>2000</td><td>H-150 × 150 × 7 × 10</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr><tr><td>2500</td><td>H-175 × 175 × 7.5 × 11</td><td>2-M16</td><td>H-125 × 125 × 6.5 × 9</td><td>M16</td></tr></table>	50	1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16	2000	H-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16	2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16
50	1500	L-130 × 130 × 15		2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16																													
	2000	L-150 × 150 × 7 × 10		2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																													
	2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																														
50	1500	L-130 × 130 × 15	2-M16	H-100 × 100 × 6 × 8	M16																														
	2000	H-150 × 150 × 7 × 10	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																														
	2500	H-175 × 175 × 7.5 × 11	2-M16	H-125 × 125 × 6.5 × 9	M16																														
175	9 行目	重心位置 ℓ _g =64cm	※「重心位置 ℓ _g =64cm」を削除																																
199	下から 2 行目	d:ボルト孔径 (M16・・・・1.7cm)	d:ボルト孔径 (M8・・・・0.9cm)																																

該当箇所 頁 行など		誤	正
215	計算例 25 (1) 設備機器緒元の図	 【寸法部分の拡大】 	 【寸法部分の拡大】 
216	上から 9～10 行目	アンカーボルトの距離 $l_G=10\text{cm}$ 盤と背面支持材とのボルトスパン $l_G=40\text{cm}$	アンカーボルトの距離 $l_G=10\text{cm}$ ※「盤と背面支持材とのボルトスパン $l_G=40\text{cm}$ 」を削除
216	指針式 3.2-1a の 2 行目	$= \frac{6.00 \times 110 - (3.00 - 3.00) \times 50}{60 \times 2} = 5.50\text{kN}$	$= \frac{6.00 \times 110 - (3.00 - 3.00) \times 10}{60 \times 2} = 5.50\text{kN}$

「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」(第 1 版 8 刷) 正誤表

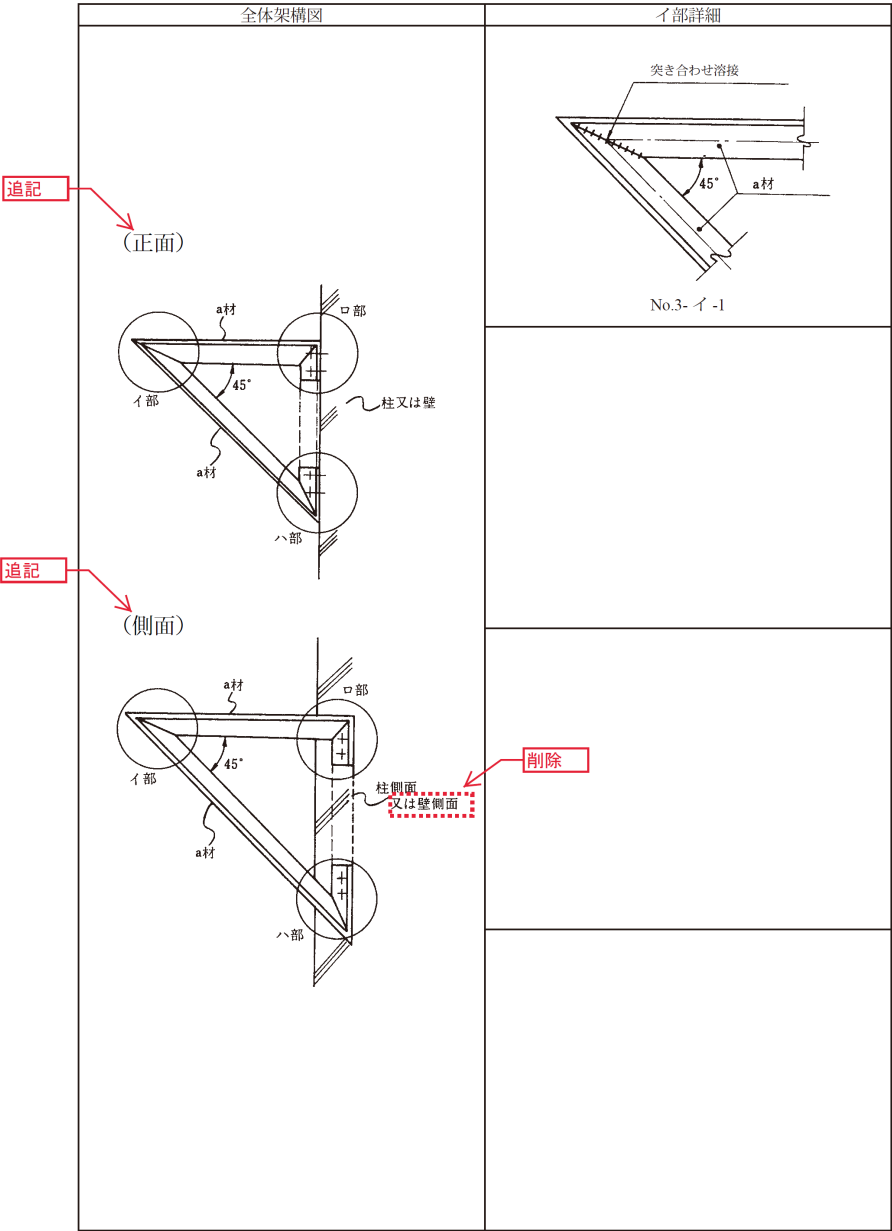
本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。

最新の正誤表については、日本建築センターホームページの書籍販売ページからご確認ください。

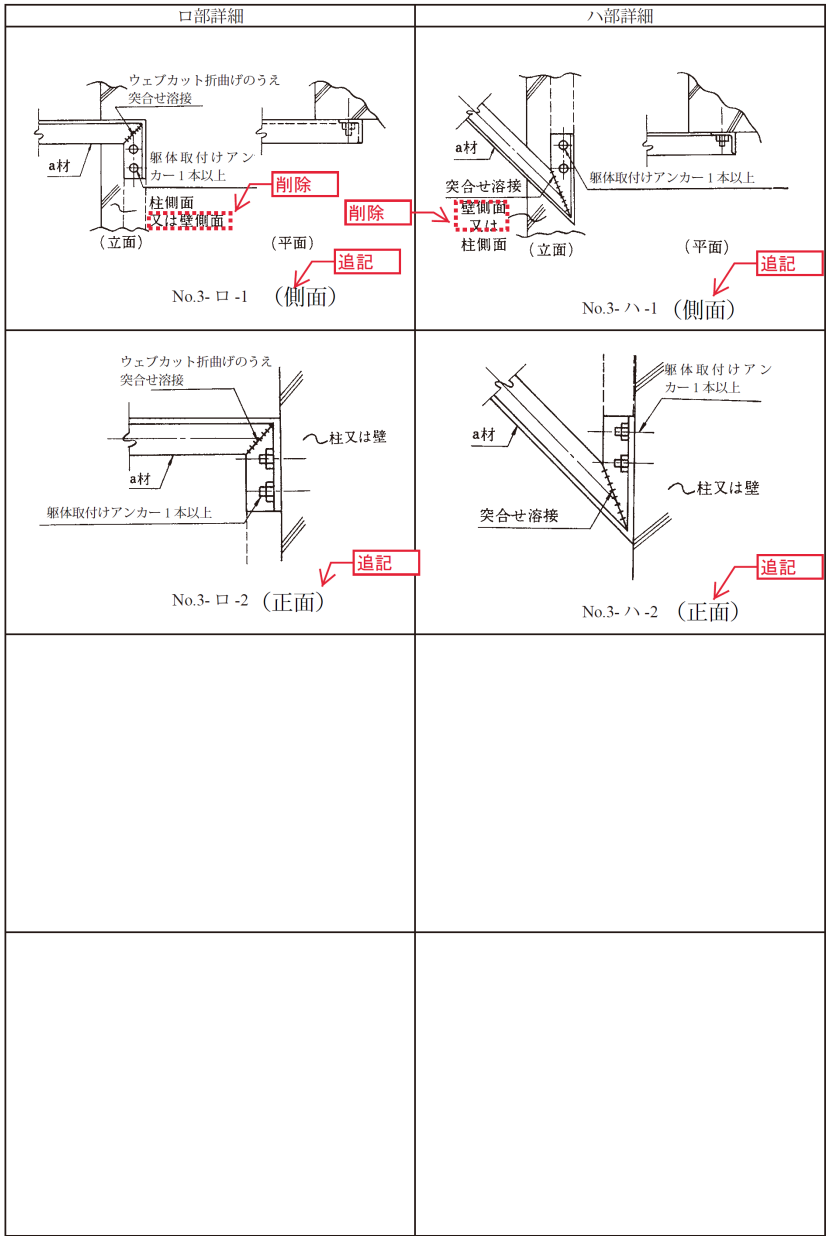
R3/12/21

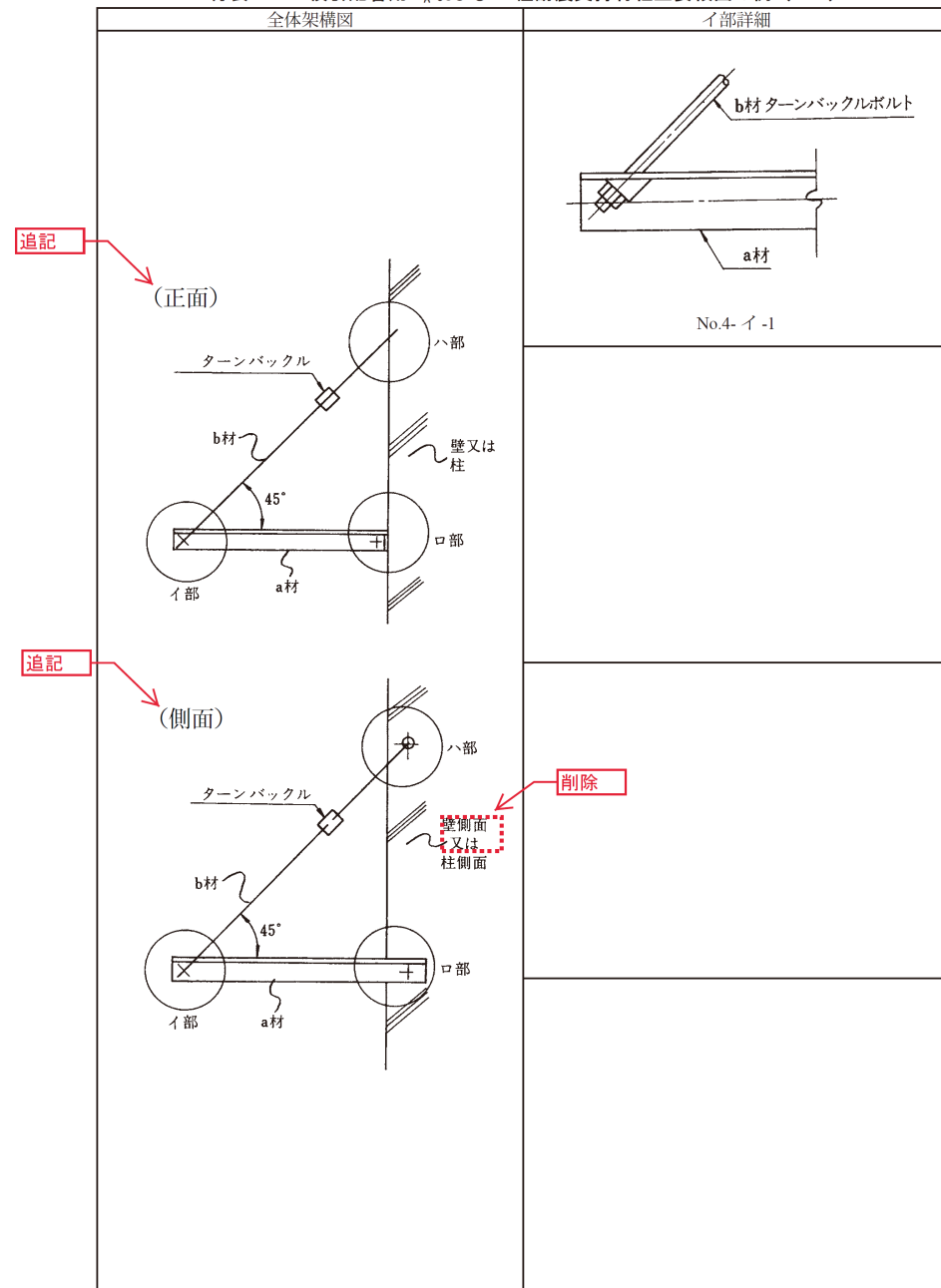
該当箇所		誤	正																
頁	行など																		
126	付表 2. 1-3 付表 2. 1-4	各表右上の 2 行目 「柱固定」「壁固定」の記載 付表 2. 1-3 の例 (他の 3 つの表も同様)	「柱固定(側面)」「柱・壁固定(正面)」と修正																
137	付表 2. 2-3 付表 2. 2-4	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">躯体取付けアンカー</td><td colspan="2">部分詳細図 No. (付表 2. 4-3)</td></tr> <tr> <td>柱固定</td><td>壁固定</td><td>柱固定</td><td>壁固定</td></tr> </table>	躯体取付けアンカー		部分詳細図 No. (付表 2. 4-3)		柱固定	壁固定	柱固定	壁固定	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">躯体取付けアンカー</td><td colspan="2">部分詳細図 No. (付表 2. 4-3)</td></tr> <tr> <td>柱固定(側面)</td><td>柱・壁固定(正面)</td><td>柱固定(側面)</td><td>柱・壁固定(正面)</td></tr> </table>	躯体取付けアンカー		部分詳細図 No. (付表 2. 4-3)		柱固定(側面)	柱・壁固定(正面)	柱固定(側面)	柱・壁固定(正面)
躯体取付けアンカー		部分詳細図 No. (付表 2. 4-3)																	
柱固定	壁固定	柱固定	壁固定																
躯体取付けアンカー		部分詳細図 No. (付表 2. 4-3)																	
柱固定(側面)	柱・壁固定(正面)	柱固定(側面)	柱・壁固定(正面)																
151 ～ 154	付表 2. 4-3 付表 2. 4-4	(修正内容は次ページ以降を参照してください。)																	

付表 2.4-3 横引配管用 S_A および A 種耐震支持材組立要領図の例 (No.3)

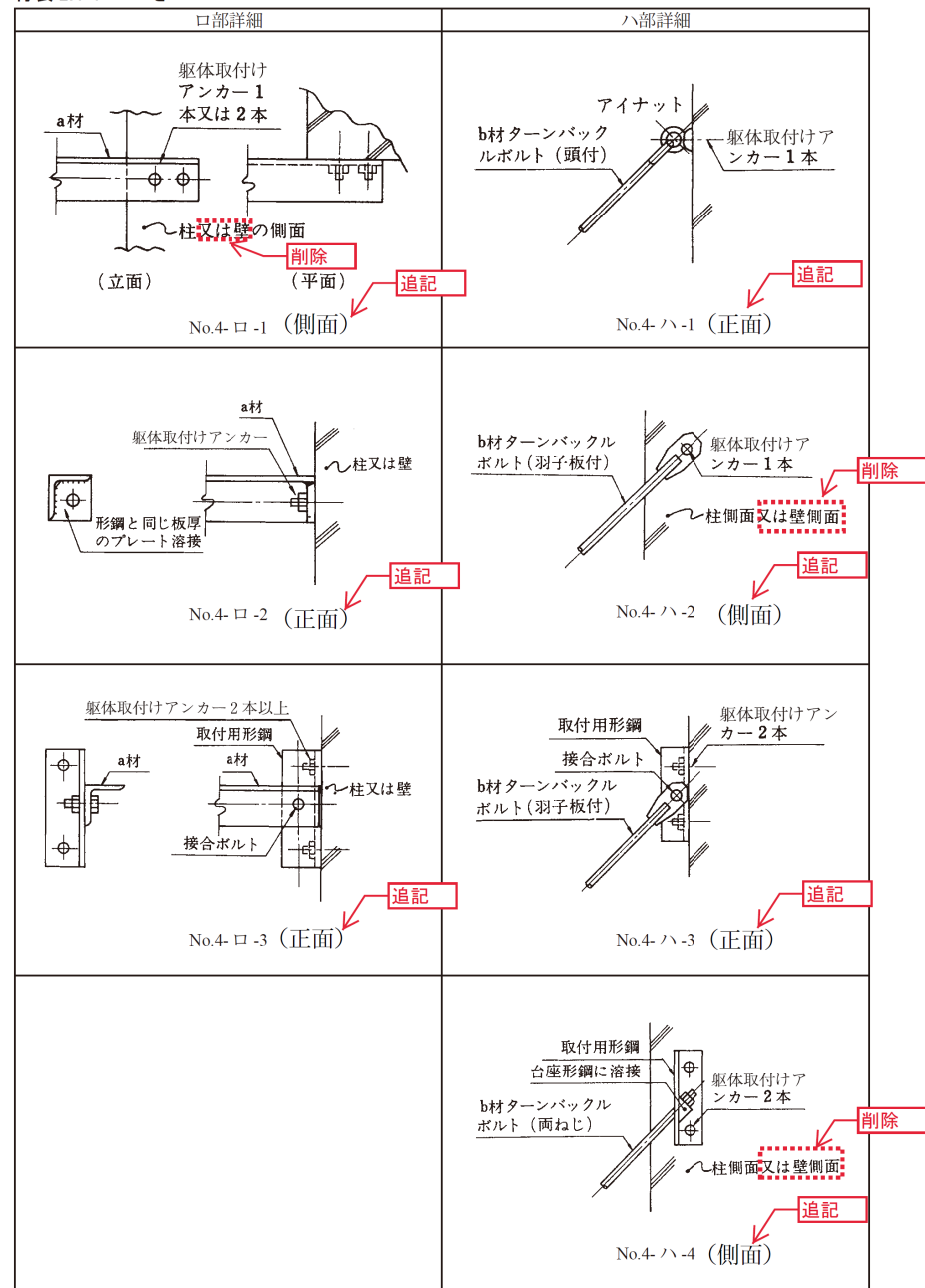


付表 2.4-3 つづき



付表 2.4-4 横引配管用 S_A および A 種耐震支持材組立要領図の例 (No.4)

付表 2.4-4 つづき



「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」(第 1 版 11 刷) 正誤表

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。

最新の正誤表については、日本建築センターホームページの書籍販売ページからご確認ください。

R7/9/30

該当箇所		誤	正
頁	行など		
190	下から 15 行目	許容引抜き力 <u>引抜き力</u> $T_a=4.50kN>N_T$	許容引抜き力 $T_a=6.70kN>N_T$
191	7 行目	許容引抜き力 $T_a=4.5kN>N_T$	許容引抜き力 $T_a=6.70kN>N_T$
209	計算例 20:消音器 枠内	■アンカーボルト	□アンカーボルト